

○論文試験問題例

〈事務行政（22-25）（行政）〉

大阪市では、少人数世帯・高齢単身世帯の増加や、マンションなど共同住宅の増加といった地域コミュニティを取り巻く社会環境の変化に加え、個人の生活様式や価値観の多様化が進展したことにより、人と人とのつながりの希薄化が進んでいることから、地域コミュニティの組織基盤を強化する必要性が顕在化している。

このような状況を踏まえ、地域コミュニティの組織基盤の機能低下により生じうる課題を具体的に説明し、その解決策について具体案を提示し、あなたの考えを述べなさい。

〈事務行政（22-25）（デジタル）〉

2040年問題とも言われる生産年齢人口の減少に伴う労働力の絶対量の不足が想定されている中で、社会環境の変化、地域課題や社会ニーズの複雑化、多様化している。このような変化に対応するため、大阪市ではデータやデジタル技術の活用によって市民 QoL（生活の質）及び都市力を向上させることをめざして「Re-Design おおさか～大阪市DX戦略～」を策定し、本格的にDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進している。

大阪市DX戦略では、市民や事業者のニーズを正しくとらえ、行政サービスそのものやその提供スタイルを進化させ、リアルの大阪市の魅力を活かしつつデジタルの力を融合させることで、Well-beingを実感できる都市へと成長・発展させていくこととしている。

そこで、行政におけるDXの意義と必要性について述べた上で、DXを推進することで2040年に向け大阪市はどのような自治体をめざすべきかを、以下のキーワード群から3つ以上のキーワードを用い、具体的に論じなさい。用いたキーワードについては、その意味も併せて説明しなさい。

【キーワード群】

アジャイル	オープンデータ	オムニチャンネル	クラウドサービス	サービスデザイン			
シビックテック	シングルサインオン	デジタルツイン	データ駆動型	デジタル3原則			
データ連携	バーチャル市役所	パーソナルデータ	ビッグデータ	プッシュ型			
マイナンバー	メタバース	レジリエンス	AI	API	BPR	EBPM	EMS
GビズID	IoE	MaaS	RPA	SaaS	UI・UX	3Dデータ	5G

## 〈消防吏員 A〉

高齢化の進展等により、救急件数の増加が予測される中、充実した施策の推進と良質な救急活動の実施により、救命率の維持向上を図る必要がある。

大阪市において「良質な救急行政サービス」を提供するにあたり、具体的にどのような取組が効果的かあなたの考えを述べなさい。

## 〈事務行政（26-34）（行政）〉

社会経済状況について、急速な少子高齢化の進行は、人口構造の変化をもたらし、経済、市民生活、医療・福祉、まちづくりの各分野に大きな影響を及ぼし、社会全体の活力低下を招くことが懸念されている。

こうした状況のもと、将来にわたり大阪が発展していくためには、将来に明るい希望を持てるまちとしていく必要があるが、具体的にどのような取組や市民生活への支援が有効と考えるか、財政面の持続可能性も考慮しながら具体的に提案しなさい。

## 〈事務行政（26-34）（デジタル）〉

近年、デジタル技術の進展はめざましく、特に、AI技術（生成AIを含む）の進化を、自治体のサービスにどのように活かすことができるかに注目が集まっています。

これまでに培った自身の知識や経験を踏まえ、次の1～3に沿って、論理的かつ具体的に述べなさい。

1. 行政機関の特性を考慮した上で、行政サービスへデジタル技術を活用する際、行政機関に期待されること
2. AI技術の可能性及び課題
3. 上記1・2を踏まえた具体的な行政サービスの提案

## 〈社会人等社会福祉（有資格）・社会人経験者社会福祉〉

共生社会の実現を推進するための認知症基本法（令和5年法律第65号）に基づき策定された「認知症施策推進基本計画」に示されている「新しい認知症観」について説明しなさい。

また、この「新しい認知症観」に基づいて認知症施策を推進するにあたり、地方自治体にはどのような取組が求められるか、あなたが特に重要と考える取組を3つ挙げ、それぞれについて具体的に述べなさい。